

厚生労働委員会

委員一覧 (25名)

| | | | |
|-----|-------------|-------------|-------------|
| 委員長 | 小川 克巳 (自民) | そのだ 修光 (自民) | 福島 みずほ (立憲) |
| 理事 | 石田 昌宏 (自民) | 羽生田 俊 (自民) | 塩田 博昭 (公明) |
| 理事 | 自見 はなこ (自民) | 藤井 基之 (自民) | 山本 博司 (公明) |
| 理事 | 石橋 通宏 (立憲) | 古川 俊治 (自民) | 東 徹 (維新) |
| 理事 | 矢倉 克夫 (公明) | 本田 顕子 (自民) | 梅村 聡 (維新) |
| 理事 | 足立 信也 (民主) | 三原じゅん子 (自民) | 田村 まみ (民主) |
| | 衛藤 晟一 (自民) | 打越 さく良 (立憲) | 倉林 明子 (共産) |
| | こやり 隆史 (自民) | 川田 龍平 (立憲) | |
| | 島村 大 (自民) | 田島 麻衣子 (立憲) | (会期終了日 現在) |

(1) 審議概観

第204回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出4件（うち本院先議1件）及び衆議院提出5件（厚生労働委員長4件）の合計9件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願49種類1,090件のうち、6種類206件を採択した。

〔法律案の審査〕

育児・介護休業 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律案（閣法第42号）（先議）は、出産・育児等による労働者の離職を防ぎ、希望に応じて男女ともに仕事と育児等を両立できるようにするため、子の出生直後の時期における柔軟な育児休業の枠組みの創設、育児休業の分割取得を可能とする規定の整備、有期雇用労働者の育児休業及び介護休業の取得要件の緩和、労働者数が1,000人を超える事業主に対する育児休業の取得状況についての公表の義務付け等の措置を講じようとするものである。委員会においては、男性の育児休

業の取得状況及び取得促進を図る意義、出生時育児休業中の就業を認めることの問題点、雇用保険の育児休業給付及び国庫負担の在り方等について質疑を行うとともに、参考人から意見を聴取し、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対し、附帯決議が付された。

差押禁止 令和二年度子育て世帯生活支援特別給付金に係る差押禁止等に関する法律案（衆第12号）は、令和二年度子育て世帯生活支援特別給付金について、差押えの禁止等を行おうとするものである。委員会においては、提出者である衆議院厚生労働委員長から趣旨説明を聴取した後、全会一致をもって原案どおり可決された。

医療 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案（閣法第17号）は、医師の長時間労働等の状況に鑑み、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するため、医師の労働時間の短縮及び健康確保のための

制度の創設、各医療関係職種の業務範囲の見直し等の措置を講ずるとともに、外来医療の機能の明確化及び連携の推進のための報告制度の創設、地域医療構想の実現に向けた医療機関の取組に関する支援の仕組みの強化等の措置を講じようとするものである。委員会においては、医師の時間外労働規制の在り方と地域医療への影響、医師が仕事と出産・子育てを両立できる環境の整備、感染症対応の視点を踏まえた地域医療構想の見直しの必要性等について質疑を行うとともに、参考人から意見を聴取し、討論の後、多数をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対し、附帯決議が付された。

医療保険 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案（閣法第21号）は、全世代対応型の社会保障制度を構築するため、健康保険等における傷病手当金の支給期間の通算化、育児休業中の保険料の免除要件の見直し及び保健事業における健康診断等の情報の活用促進、後期高齢者医療における窓口負担割合の見直し等の措置を講じようとするものである。委員会においては、参考人から意見を聴取するとともに、後期高齢者の窓口負担割合の在り方、健診結果等の個人情報保護方策、医療扶助におけるオンライン資格確認の運用の在り方、現役世代に対する更なる負担増を抑制する必要性等について、菅内閣総理大臣にも出席を求め質疑を行った。討論の後、多数をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対し、附帯決議が付された。

アスベスト 特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付金等の支給に関する法律案（衆第28号）は、石綿にさらされる建設業務に従事した労働者等が中皮腫

その他の疾病にかかり精神上の苦痛を受けたことに係る最高裁判決等において国の責任が認められたことに鑑み、当該最高裁判決等において国の責任が認められた者と同様の苦痛を受けている者について、その損害の迅速な賠償を図るため、給付金等の支給について定めようとするものである。委員会においては、提出者である衆議院厚生労働委員長から趣旨説明を聴取した後、全会一致をもって原案どおり可決された。

ILO条約 強制労働の廃止に関する条約（第百五号）の締結のための関係法律の整備に関する法律案（衆第23号）は、我が国が強制労働の廃止に関する条約（第105号）を締結するため、同条約が禁止する強制労働に該当するおそれがある罰則に関する規定に係る関係法律の規定中、懲役刑を禁錮刑に改めようとするものである。委員会においては、発議者衆議院議員西村智奈美君から趣旨説明を聴取した後、国家公務員の政治的行為等に係る罰則を廃止する必要性等について質疑が行われ、多数をもって原案どおり可決された。

B型肝炎 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の一部を改正する法律案（閣法第22号）は、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給の請求の状況等を勘案し、当該給付金等の請求期限を延長する等の措置を講じようとするものである。委員会においては、給付金制度の周知・広報の必要性、給付金請求の期限を設ける理由、再発B型肝炎最高裁判決を受けた対応方針等について質疑が行われ、全会一致をもって原案どおり可決された。

中小事業主共済 中小事業主が行う事業に従事する者等の労働災害等に係る共

济事業に関する法律案（衆第33号）は、中小事業主が行う事業に従事する者等の労働災害等の防止を図るとともに、これらの者の労働災害等その他の災害について共済団体による共済制度を確立しようとするものである。委員会においては、提出者である衆議院厚生労働委員長から趣旨説明を聴取した後、労働災害に係る共済事業のみを立法化する理由、労災の適用対象を広げる必要性等について質疑が行われ、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対し、附帯決議が付された。

医療的ケア児 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律案（衆第34号）は、医療技術の進歩に伴い医療的ケア児が増加するとともにその実態が多様化している中で、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関し、基本理念、国等の責務、支援に係る施策等を定めようとするものである。委員会においては、提出者である衆議院厚生労働委員長から趣旨説明を聴取した後、医療的ケア児をめぐる状況と法案提出に至る経緯、本法を踏まえた施策の充実の必要性、医療的ケア児支援センターの意義及び役割等について質疑が行われ、全会一致をもって原案どおり可決された。なお、本法律案に対し、附帯決議が付された。

〔国政調査等〕

第203回国会閉会後の令和2年12月10日、新型コロナウイルス感染症対策等に関する件を議題とし、医療従事者の負担軽減と医療機関への経済的支援の必要性に対する厚労大臣の認識、いわゆるサイレント内定取消しの取締りに向けた厚労大臣の決意、コロナ禍において女性の非正規雇用労働者に対する各種支援制度を

点検し強化する必要性、予備費を活用して新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金を再支給する必要性、年末年始の医療機関における相談・検査・診療体制の在り方、新型コロナウイルス感染拡大の現状に鑑みて緊急事態宣言を発出する必要性、コロナ禍による受診抑制が健康に対して与える影響に関する調査研究の方向性、コロナ禍で明らかになった脆弱な医療や介護の現場の人員体制に対する厚労大臣の認識等について質疑を行った。

令和3年3月9日、厚生労働行政等の基本施策について田村国務大臣（厚生労働大臣・働き方改革担当大臣）から所信を、令和3年度厚生労働省関係予算について山本厚生労働副大臣から説明を、それぞれ聴取した。

3月16日、厚生労働行政等の基本施策に関し、厚労大臣が最も懸念するコロナ禍の影響下における雇用・労働上の問題、男女間の同一労働同一賃金がいまだ実現されていないことに対する厚労大臣の見解、不具合が度重なる新型コロナウイルス接触確認アプリの問題点及び改善策、地域の実情に合わせた新型コロナウイルスワクチンの接種体制整備の在り方、後発医薬品企業における法令違反事案の発生要因を徹底的に検証する必要性、日本で使用する新型コロナウイルスワクチンに対して変異株が与える影響、新型コロナウイルス感染症の後遺症に対する実態把握及び相談体制の在り方、全ゲノム解析等実行計画の現状及び今後の計画の進め方、緊急事態時においても医療保険と介護保険の給付調整を続けることの妥当性、雇用調整助成金のコロナ特例が終了することで及ぼされる雇用の影響への対策、社会福祉施設への看護師日雇派遣の解禁がサービスの劣化等の支障を来す懸

念等について質疑を行った。

3月22日、予算委員会から委嘱された令和3年度厚生労働省関係予算の審査を行い、AYA世代のがん患者等への不妊治療に対する経済的支援についての見解、医薬品等行政評価・監視委員会の運営に係る独立性の確保状況に関する厚労大臣の認識、令和3年2月22日の大阪地裁判決を受けて生活保護基準を引下げ前の水準に設定し直す必要性、新型コロナウイルス接触確認アプリのトラブル発生時の教訓と大臣の決意、がん遺伝子パネル検査を標準治療前の患者に認める必要性、PCR検査で陽性が確認された全ての検体に対し変異株スクリーニング検査を実施する必要性、生活保護費を当初予算で過大計上し補正予算で減額する計上方法を改善する必要性、雇用保険に対する国庫負担を大幅に増額する必要性等について質疑を行った。

3月30日、新型コロナウイルス感染症の自宅療養で訪問診療等を活用することに対する所見、厚労省職員の大人数での会食に関する国民への説明と謝罪の必要性、認知症の予防や発症について食品や有害物質による影響を調査研究する必要性、沖縄本島南部の戦没者の遺骨が含まれる可能性がある土砂の採取を取りやめる必要性、科学的介護情報システムLIFEに全ての介護事業所が参加するための支援の必要性、効果的なテレビCM等を活用したマスク会食推進の必要性、新型コロナウイルスワクチン接種の効果等に関する調査及びデータベース構築の取組状況、国内生産予定の新型コロナウイルスワクチンの承認に向けた体制の現状、生活保護の扶養照会を廃止又は本人の同意を条件とする必要性等について質疑を行った。

4月6日、厚労省職員が会食した店舗の営業時間の確認に係る事実関係及び不参加の職員の問題意識、看護師の日雇派遣を可能とする改正政令を廃止する必要性、不妊治療と仕事の両立支援の助成対象を中小企業だけでなく大企業にも拡大する必要性、戦没者の遺骨が含まれる可能性がある沖縄本島南部の土砂を埋立てに使わない必要性、コロナ禍におけるがん検診受診勧奨の必要性、感染拡大地域において新型コロナウイルスワクチンを優先的に供給する必要性、無症状病原体保有者の濃厚接触者が全員行政検査の対象となることの確認、最低賃金の上げが雇用維持につながるとの研究結果を今後の取組にいかす必要性等について質疑を行った。

4月20日、子宮頸がん予防策において検診により力を入れる必要性、新型コロナウイルスワクチン接種後の死亡事例の因果関係に関する評価を進める必要性、医療従事者に対するPCR検査の実施状況と迅速なワクチン接種の必要性、新型コロナウイルスの変異株の現状と解析状況、国内におけるワクチンの開発・生産支援の強化に向けた厚労大臣の決意、新型コロナウイルス感染症に係る今後の病床確保に向けた方策及び目標病床数、厚労省職員に対し同省予算でPCR検査を受けさせる仕組みの必要性、新型コロナウイルス接触確認アプリのダウンロード及び陽性登録の義務化に対する厚労大臣の見解、宿泊療養者及び自宅療養者を保健所が積極的に医療に結びつける必要性、ヤングケアラーが外部の支援とつながっていない現状に対する受け止め等について質疑を行った。

5月6日、新型コロナウイルス感染症対策に関する件を議題とし、参考人から

意見を聴取した後、各参考人に対し、介護福祉施設におけるクラスター発生時の医療体制や自治体との連携の現状、コロナ禍にあっても生活保護の水際作戦が行われている現状の解決策、感染症専門医を育成する自治体の取組に対する評価と国の支援制度の在り方、保健所における疫学調査及び入院調整体制の在り方、コロナ禍における介護従事者の精神的ケアに係る具体策、HER-SYSの活用が個人情報不正利用防止の観点から遅れた状況等について質疑を行った。

5月11日、NPO法人日本派遣看護師協会における会計処理の適正化に向けた今後の対応、自衛隊が運営する新型コロナウイルスワクチン大規模接種会場の進捗状況、規制改革推進会議における検討過程を踏まえて看護師の日雇派遣を見直す必要性、医学生、薬剤師及び獣医師について新型コロナウイルスワクチン接種を可能とする必要性、飲食店における新型コロナウイルス感染防止対策に係る認証基準の必須項目の選定理由、看護師の日雇派遣の解禁がリスクを伴う規制緩和であるとの指摘に対する厚労大臣の認識等について質疑を行った。

5月18日、大規模臨床試験の実施を前提とした国産ワクチン評価方法により開発が遅れることの懸念、委員会離席についての厚労副大臣の責任の取り方、公務部門における非常勤職員の増加が公共サービスの質の低下を招くことへの懸念、日本派遣看護師協会に個人会費収入がなく定款に違反することについての同協会の見解、新型コロナウイルスワクチンの接種対象を12歳以上に拡大する場合の接種費用及び健康被害救済制度の在り方、高齢者に配慮した新型コロナウイルスワクチン接種の予約支援を充実する必要性、

副大臣室から公務の日程を関係部署等に連絡していなかったことの問題性、新型コロナウイルス感染症患者への訪問診療について在宅時医学総合管理料を算定可能にする必要性、新型コロナウイルス感染症治療薬としてのアビガンの治験の設計及び結果、新型コロナウイルスワクチン接種を行う医師・看護師等の確保のための財政支援の内容等について質疑を行った。

5月20日、建設アスベスト被害者の救済に当たって建材メーカーにも拠出を求める必要性、新型コロナウイルス感染症の宿泊療養施設における療養状況の実態を把握する必要性、母体保護法に定める人工妊娠中絶の配偶者同意要件の見直しの必要性、薬剤師による新型コロナウイルスワクチンの接種を認める必要性、人工妊娠中絶費用を示さず出産育児一時金を医療機関が受領することの問題性、国産新型コロナウイルスワクチン実用化に向けた見通し、建設アスベスト訴訟最高裁判決で救済の対象から外れた屋外建設労働者を救済する必要性等について質疑を行った。

6月8日、臓器移植に関する件及び戦没者の遺骨収集事業に関する件について、田村厚生労働大臣から臓器移植の実施状況等及び戦没者の遺骨収集事業の実施状況等について報告を聴取した後、ワクチン開発・生産体制強化戦略の具体化に向けた厚労大臣の考え、ILO第111号条約を始めとする日本が未批准のILO条約批准に向けた厚労大臣の決意、意見表明支援員の自治体への配置を努力義務ではなく義務とする必要性、東京オリンピック・パラリンピックに係る専門家による新型コロナウイルス感染症のリスク評価の実効性の担保方策、新型コロナウイルス

ワクチンの職域接種は接種券がなくても行えることの確認、建設アスベスト被害者の救済に対する厚労大臣の決意及び救済に必要な財源確保方策、就職活動中の学生に対するセクハラがあった企業に対して制裁を科す必要性、副反応疑い報告における死亡事例だけでなくワクチン接種から一定期間内に死亡した者の全数も公表する必要性、コロナ禍における臓器移植に係る厚労省の取組、戦没者の遺骨のDNA鑑定体制を充実させる方策等について質疑を行った。

6月10日、コロナ禍における口腔ケアの重要性に関する厚労大臣の認識、日本派遣看護師協会の総会等の議事録を改め

て作成する必要性、コロナ禍における無料低額診療事業の利用に関する厚労省の把握状況、仮放免の外国人に対する医療を確保する方策、プレハブを活用した病床確保に関し都道府県と協議し支援することの確認、大臣・副大臣・大臣政務官の役割分担及びコロナ禍の雇用・女性支援プロジェクトチームに関する厚労大臣の評価、カスタマーハラスメントの企業向けマニュアル策定以外の取組に関する厚労省の認識、障害福祉サービス等報酬における児童発達支援の個別サポート加算Ⅰの判定基準の妥当性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和2年12月10日(木) (第203回国会閉会後第1回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 新型コロナウイルス感染症対策等に関する件について田村厚生労働大臣、山本厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

石田昌宏君(自民)、石橋通宏君(立憲)、福島みずほ君(立憲)、田島麻衣子君(立憲)、塩田博昭君(公明)、東徹君(維新)、足立信也君(民主)、倉林明子君(共産)

○令和3年2月2日(火) (第1回)

- 社会保障及び労働問題等に関する調査を行うことを決定した。
- 新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律案(閣法第6号)(衆議院送付)について内閣委員会に連合審査会の開会を申し入れることを決定した。

○令和3年2月3日(水)

内閣委員会、厚生労働委員会連合審査会(第1回)

(内閣委員会を参照)

○令和3年3月9日(火) (第2回)

- 厚生労働行政等の基本施策に関する件について田村国務大臣から所信を聴いた。
- 令和3年度厚生労働省関係予算に関する件について山本厚生労働副大臣から説明を聴いた。

○令和3年3月16日(火) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 厚生労働行政等の基本施策に関する件について田村厚生労働大臣、三原厚生労働副大臣、山本副大臣、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

石橋通宏君(立憲)、福島みずほ君(立憲)、田島麻衣子君(立憲)、羽生田俊君(自民)、本田顕子君(自民)、塩田博昭君(公明)、矢倉克夫君(公明)、東徹君(維新)、梅村聡君(維新)、田村まみ君(民主)、倉林明子君(共産)

○令和3年3月22日(月) (第4回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

- 令和三年度一般会計予算（衆議院送付）
- 令和三年度特別会計予算（衆議院送付）
- 令和三年度政府関係機関予算（衆議院送付）
（厚生労働省所管）について田村厚生労働大臣、三原厚生労働副大臣、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

自見はなこ君（自民）、川田龍平君（立憲）、打越さく良君（立憲）、矢倉克夫君（公明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

本委員会における委嘱審査は終了した。

○令和3年3月30日（火）（第5回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 厚生労働省職員の大人数での会食に関する件、新型コロナウイルス感染症に係る保健医療体制に関する件、新型コロナウイルスワクチンの承認審査、生産及び接種に係る体制整備に関する件、認知症予防施策に関する件、沖縄本島南部の土砂採取に関する件、科学的介護情報システムの導入に関する件、マスク会食の推進に関する件、新型コロナウイルスワクチンの効果等に関する調査の必要性に関する件、生活保護の扶養照会の取扱いに関する件等について田村厚生労働大臣、山本厚生労働副大臣、三原厚生労働副大臣、こやり厚生労働大臣政務官、吉川内閣府大臣政務官、松川防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

島村大君（自民）、石橋通宏君（立憲）、川田龍平君（立憲）、福島みずほ君（立憲）、塩田博昭君（公明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）

○令和3年4月6日（火）（第6回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 厚生労働省職員の大人数での会食に関する件、看護師の日雇派遣問題に関する件、不妊治療の実態を踏まえた支援方策に関する件、

沖縄本島南部の土砂採取に関する件、コロナ禍におけるがん検診受診勧奨の必要性に関する件、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策に関する件、新型コロナウイルス感染症に係る濃厚接触者の定義に関する件、最低賃金引上げの必要性に関する件等について田村厚生労働大臣、山本内閣府副大臣、堀内環境副大臣、松川防衛大臣政務官、大隈厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

自見はなこ君（自民）、打越さく良君（立憲）、田島麻衣子君（立憲）、福島みずほ君（立憲）、塩田博昭君（公明）、東徹君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

- 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律案（閣法第42号）について田村厚生労働大臣から趣旨説明を聴いた。
- また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和3年4月8日（木）（第7回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律案（閣法第42号）について田村厚生労働大臣、三原厚生労働副大臣、山本内閣府副大臣、岡下内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石橋通宏君（立憲）、川田龍平君（立憲）、倉林明子君（共産）、本田顕子君（自民）、矢倉克夫君（公明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、田村まみ君（民主）

○令和3年4月13日（火）（第8回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律案（閣法第42号）について田村厚生労働大臣、三ッ林内閣府副大臣

及び政府参考人に対し質疑を行った後、次の参考人から意見を聴き、各参考人に対し質疑を行った。

・質疑

〔質疑者〕

田島麻衣子君（立憲）、東徹君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

・参考人に対する質疑

〔参考人〕

一般社団法人日本経済団体連合会労働法制本部長 鈴木重也君

日本労働組合総連合会総合政策推進局長（ジェンダー平等・多様性推進担当） 井上久美枝君

特定非営利活動法人マタニティハラスメント対策ネットワーク代表理事

地域包括支援団体フィレールラビッツ浮間代表理事 宮下浩子君

〔質疑者〕

石田昌宏君（自民）、福島みずほ君（立憲）、塩田博昭君（公明）、梅村聡君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

○令和3年4月15日（木）（第9回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び雇用保険法の一部を改正する法律案（閣法第42号）について田村厚生労働大臣、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

打越さく良君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）

（閣法第42号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和3年4月20日（火）（第10回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○子宮頸がん予防策の在り方に関する件、厚生

労働省職員の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する件、新型コロナウイルスワクチンの承認、供給及び接種体制の状況に関する件、医療機関の新型コロナウイルス感染症感染防止への支援に関する件、新型コロナウイルスの変異株の現状と解析状況に関する件、新型コロナウイルス感染症に係る医療体制に関する件、新型コロナウイルス接触確認アプリの運用の在り方に関する件、ヤングケアラの実態及び支援方策に関する件等について田村厚生労働大臣、三原厚生労働副大臣、山本厚生労働副大臣、鰐淵文部科学大臣政務官、政府参考人及び衆議院法制局当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

川田龍平君（立憲）、石橋通宏君（立憲）、倉林明子君（共産）、古川俊治君（自民）、藤井基之君（自民）、矢倉克夫君（公明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、足立信也君（民主）

○令和二年度子育て世帯生活支援特別給付金に係る差押禁止等に関する法律案（衆第12号）

（衆議院提出）について提出者衆議院厚生労働委員長とかしきなおみ君から趣旨説明を聞いた後、可決した。

（衆第12号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産

反対会派 なし

○令和3年4月22日（木）（第11回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案（閣法第17号）（衆議院送付）について田村厚生労働大臣から趣旨説明を聞いた後、同大臣、熊田総務副大臣、山本厚生労働副大臣、松川防衛大臣政務官、大隈厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

川田龍平君（立憲）、福島みずほ君（立憲）、田島麻衣子君（立憲）、自見はなこ君（自

民)、塩田博昭君(公明)、矢倉克夫君(公明)、東徹君(維新)、梅村聡君(維新)、田村まみ君(民主)、倉林明子君(共産)また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和3年4月27日(火)(第12回)

- 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案(閣法第17号)(衆議院送付)について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

医師

元大阪府健康医療部長 上家子君

公益社団法人全日本病院協会会長

公益社団法人日本医師会副会長 猪口雄二君

全日本自治団体労働組合衛生医療局長 福井淳君

全国過労死を考える家族の会会員

医師の働き方を考える会共同代表 中原のり子君

独立行政法人地域医療機能推進機構理事

一般社団法人全国医学部長病院長会議臨床系教員の働き方改革WG座長 山本修一君

[質疑者]

島村大君(自民)、田島麻衣子君(立憲)、矢倉克夫君(公明)、梅村聡君(維新)、足立信也君(民主)、倉林明子君(共産)

- 参考人の出席を求めることを決定した。

○令和3年5月6日(木)(第13回)

- 新型コロナウイルス感染症対策に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

公益社団法人全国老人福祉施設協議会副会長 木村哲之君

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際感染症センター国際感染症対策室 医長 忽那賢志君

一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事 稲葉剛君

港区みなと保健所長 松本加代君

[質疑者]

自見はなこ君(自民)、石橋通宏君(立憲)、矢倉克夫君(公明)、東徹君(維新)、田村まみ君(民主)、倉林明子君(共産)、福島みずほ君(立憲)、打越さく良君(立憲)、塩田博昭君(公明)、藤井基之君(自民)、古川俊治君(自民)、足立信也君(民主)、梅村聡君(維新)、田島麻衣子君(立憲)、衛藤晟一君(自民)、川田龍平君(立憲)、本田顕子君(自民)

○令和3年5月11日(火)(第14回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 看護師の日雇派遣問題に関する件、新型コロナウイルスワクチンの接種体制に関する件、飲食店における新型コロナウイルス感染症感染防止対策に関する件等について田村厚生労働大臣、中山防衛副大臣、岡下内閣府大臣政務官、政府参考人及び参議院事務局当局に対し質疑を行った。

[質疑者]

打越さく良君(立憲)、福島みずほ君(立憲)、石橋通宏君(立憲)、東徹君(維新)、田村まみ君(民主)、倉林明子君(共産)

- 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案(閣法第17号)(衆議院送付)について田村厚生労働大臣、熊田総務副大臣、三谷内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

自見はなこ君(自民)、打越さく良君(立憲)、石橋通宏君(立憲)、塩田博昭君(公明)、梅村聡君(維新)、足立信也君(民主)、倉林明子君(共産)

○令和3年5月13日(木)(第15回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案(閣法第17号)(衆議院送付)について田村厚生労働大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

田島麻衣子君（立憲）、福島みずほ君（立憲）、川田龍平君（立憲）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）

○令和3年5月18日（火）（第16回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 新型コロナウイルス感染症に係るワクチン・治療薬の承認、開発状況等に関する件、厚生労働副大臣の委員会離席に関する件、公務部門における非常勤職員問題に関する件、看護師の日雇派遣問題に関する件、新型コロナウイルスワクチンの接種体制に関する件、新型コロナウイルス感染症に係る検査・医療体制に関する件等について田村厚生労働大臣、三原厚生労働副大臣、山本副大臣、政府参考人及び参議院事務局当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

藤井基之君（自民）、石橋通宏君（立憲）、福島みずほ君（立憲）、打越さく良君（立憲）、矢倉克夫君（公明）、塩田博昭君（公明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

○令和3年5月20日（木）（第17回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律案（閣法第17号）（衆議院送付）について田村厚生労働大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

〔質疑者〕

足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）
（閣法第17号）

賛成会派 自民、公明、維新、民主

反対会派 立憲、共産

なお、附帯決議を行った。

- 建設アスベスト健康被害への対応に関する件、新型コロナウイルス感染症患者の療養体制に関する件、人工妊娠中絶の配偶者同意要件の見直しの必要性に関する件、新型コロナウイルスワクチンの接種体制に関する件、出産育児一時金を利用した人工妊娠中絶の問題性に関する件、新型コロナウイルス感染症に

係るワクチン・治療薬の承認、開発等の在り方に関する件等について田村厚生労働大臣、三原厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

福島みずほ君（立憲）、田島麻衣子君（立憲）、打越さく良君（立憲）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

○令和3年5月25日（火）（第18回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案（閣法第21号）（衆議院送付）について田村厚生労働大臣から趣旨説明を聞いた後、同大臣、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

石橋通宏君（立憲）、川田龍平君（立憲）、田島麻衣子君（立憲）、本田顕子君（自民）、塩田博昭君（公明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林明子君（共産）

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○令和3年5月27日（木）（第19回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案（閣法第21号）（衆議院送付）について田村厚生労働大臣、山本内閣府副大臣、こやり厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

打越さく良君（立憲）、福島みずほ君（立憲）、川田龍平君（立憲）、古川俊治君（自民）、矢倉克夫君（公明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

○令和3年5月31日（月）（第20回）

- 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案（閣

法第21号) (衆議院送付) について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

健康保険組合連合会副会長・専務理事 佐野雅宏君

学習院大学経済学部長 遠藤久夫君

日本労働組合総連合会総合政策推進局長 佐保昌一君

日本高齢期運動連絡会代表委員 吉岡尚志君

[質疑者]

そのだ修光君 (自民)、福島みずほ君 (立憲)、塩田博昭君 (公明)、梅村聡君 (維新)、足立信也君 (民主)、倉林明子君 (共産)

○令和3年6月1日(火) (第21回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 参考人の出席をを求めることを決定した。
- 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案(閣法第21号) (衆議院送付) について菅内閣総理大臣、田村厚生労働大臣、こやみ厚生労働大臣政務官、政府参考人及び参考人独立行政法人地域医療機能推進機構理事長尾身茂君に対し質疑を行った。

・質疑

[質疑者]

東徹君 (維新)、田村まみ君 (民主)、倉林明子君 (共産)

・内閣総理大臣に対する質疑

[質疑者]

自見はなこ君 (自民)、田島麻衣子君 (立憲)、打越さく良君 (立憲)、矢倉克夫君 (公明)、梅村聡君 (維新)、足立信也君 (民主)、倉林明子君 (共産)

・質疑

[質疑者]

福島みずほ君 (立憲)、川田龍平君 (立憲)、梅村聡君 (維新)、足立信也君 (民主)、倉林明子君 (共産)

○令和3年6月3日(木) (第22回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席をを求めることを決定した。
- 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律案(閣法第21号) (衆議院送付) について田村厚生労働大臣、和田内閣府大臣政務官、政府参考人及び参考人独立行政法人地域医療機能推進機構理事長尾身茂君に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

打越さく良君 (立憲)、田島麻衣子君 (立憲)、川田龍平君 (立憲)、福島みずほ君 (立憲)、東徹君 (維新)、梅村聡君 (維新)、田村まみ君 (民主)、足立信也君 (民主)、倉林明子君 (共産)

(閣法第21号)

賛成会派 自民、公明、維新、民主

反対会派 立憲、共産

なお、附帯決議を行った。

○令和3年6月8日(火) (第23回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席をを求めることを決定した。
- 参考人の出席をを求めることを決定した。
- 臓器移植に関する件及び戦没者の遺骨収集事業に関する件について田村厚生労働大臣から報告を聴いた後、国産新型コロナウイルスワクチンの開発及び生産の推進に関する件、未批准のILO基本条約の批准に向けた取組に関する件、子どもの権利擁護のための意見聴取の在り方に関する件、東京オリンピック・パラリンピックの開催に係る新型コロナウイルス感染症のリスクの評価に関する件、建設アスベスト被害者の救済に向けた今後の取組に関する件、新型コロナウイルスワクチンの接種の推進に関する件、就職活動中の学生に対するセクハラ防止に関する件、新型コロナウイルスワクチン接種後の死亡事例の評価・公表方法に関する件、コロナ禍における臓器移植の推進方策に関する件、戦没者の遺骨収集事業の進め方に関する件等について田村厚生労働大臣、山本厚生労働副大臣、三原厚生労働副大臣、中西外務大臣政務官、鰐淵

文部科学大臣政務官、政府参考人及び参考人
独立行政法人地域医療機能推進機構理事長尾
身茂君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

藤井基之君（自民）、石橋通宏君（立憲）、
打越さく良君（立憲）、田島麻衣子君（立
憲）、福島みずほ君（立憲）、塩田博昭君（公
明）、東徹君（維新）、梅村聡君（維新）、
足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

- 特定石綿被害建設業務労働者等に対する給付
金等の支給に関する法律案（衆第28号）（衆
議院提出）について提出者衆議院厚生労働委
員長とかしきなおみ君から趣旨説明を聞いた
後、可決した。

（衆第28号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、
共産

反対会派 なし

- 強制労働の廃止に関する条約（第百五号）の
締結のための関係法律の整備に関する法律案
（衆第23号）（衆議院提出）について発議者
衆議院議員西村智奈美君から趣旨説明を聴
き、田村厚生労働大臣及び政府参考人に対し
質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

倉林明子君（共産）

（衆第23号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主
反対会派 共産

- 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給
に関する特別措置法の一部を改正する法律案
（閣法第22号）（衆議院送付）について田村
厚生労働大臣から趣旨説明を聞いた。

○令和3年6月10日（木）（第24回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。

- 特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給
に関する特別措置法の一部を改正する法律案
（閣法第22号）（衆議院送付）について田村
厚生労働大臣及び政府参考人に対し質疑を
行った後、可決した。

〔質疑者〕

福島みずほ君（立憲）、川田龍平君（立憲）、

梅村聡君（維新）、田村まみ君（民主）、倉
林明子君（共産）

（閣法第22号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、
共産

反対会派 なし

- コロナ禍における歯科口腔保健の重要性に関
する件、看護師の日雇派遣問題に関する件、
無料低額診療事業の現状及び仮放免外国人へ
の医療支援に関する件、新型コロナウイルス
感染症のプレハブ病床の活用方策に関する
件、コロナ禍の雇用・女性支援プロジェクト
チームの取組及び評価に関する件、カスタ
マーハラスメント対策の推進に関する件、障
害福祉サービス等報酬における児童発達支援
の個別サポート加算の在り方に関する件等につ
いて田村厚生労働大臣、山本厚生労働副大
臣、三原厚生労働副大臣、鰐淵文部科学大臣
政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

山田宏君（自民）、打越さく良君（立憲）、
石橋通宏君（立憲）、矢倉克夫君（公明）、
東徹君（維新）、田村まみ君（民主）、倉林
明子君（共産）

- 中小事業主が行う事業に従事する者等の労働
災害等に係る共済事業に関する法律案（衆第
33号）（衆議院提出）について提出者衆議院
厚生労働委員長とかしきなおみ君から趣旨説
明を聴き、衆議院厚生労働委員長代理橋本岳
君、田村厚生労働大臣及び政府参考人に対し
質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

（衆第33号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、
共産

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

- 医療的ケア児及びその家族に対する支援に関
する法律案（衆第34号）（衆議院提出）につ
いて提出者衆議院厚生労働委員長とかしき
なおみ君から趣旨説明を聴き、衆議院厚生労働

委員長代理荒井聰君、同高木美智代君、田村厚生労働大臣、山本厚生労働副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

田島麻衣子君（立憲）、矢倉克夫君（公明）、東徹君（維新）、足立信也君（民主）、倉林明子君（共産）

（衆第34号）

賛成会派 自民、立憲、公明、維新、民主、共産

反対会派 なし

なお、附帯決議を行った。

○令和3年6月16日（水）（第25回）

- 請願第324号外205件は、採択すべきものにして、内閣に送付するを要するものと審査決定し、第1号外883件を審査した。
- 社会保障及び労働問題等に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。